

# 第1学年5組男子 保健体育科学習指導案

指導者 亀岡 政哉

## 1. 単元名 心身の機能の発達と心の健康（生殖にかかわる機能の成熟）

### 2. 単元について

- (1) 中学生になると、身体の各器官が発育・発達し、身長や体重が増加する。更に適度な運動や食事等によって、呼吸・循環機能も効果的に発達し、外見も含めて限りなく大人に近い体になってくる。生殖機能に関しては、小学校高学年から発達し始める児童もいるが、中学生初期に当たる第1学年では個人差があり、発達段階においてばらつきが見られる。これらのことから、身体機能の発育・発達、生殖に関わる機能の成熟を学習させるとともに、発育・発達等には性差や個人差があることを理解させることで、性に関する適切な知識と態度を身につけさせたい。また、精神的には自己形成の時期であることや精神と身体は互いに影響し合うこと、心の健康を保つためには欲求やストレスに適切に対処することなど、自己の性を改めて認識させるとともに、将来充実した生活を送るための土台となる、異性を尊重する態度や心を育てることにつながる貴重な題材である。
- (2) 本学級は、男子16名の学級であり、学校行事や学級活動に対して積極的で、何事にも前向きに取り組める生徒が多い。事前に行った性に関するアンケートでは「自分の性に生まれてよかったと思う」と答えた生徒は100%（16名）で、「異性に興味がある」と答えた生徒は19%（3名）であった。この結果からは、自己の性を肯定的に捉えているが、異性に対する興味や関心は、あまり高くないと言えそうである。しかし、普段の言動からは、少しずつ異性に対して興味や関心が湧いてきている様子も見られ、アンケートの結果が全て本心でなく、羞恥心もあるように思われる。尚、小学校高学年時に性に関する学習を行っており、受精や妊娠についての基本的な知識はある。
- (3) 以上のことを踏まえて、本単元の指導に当たっては、次のことに留意したい。
  - ・ 絵図等を使うなど、教材提示の工夫によって、心身の健康について関心をもって取り組ませるとともに、思春期の体の変化や男女それぞれの性機能のしくみについて深く理解させ、自己や異性を大切にし、尊重し合える心情をはぐくみたい。
  - ・ 話し合い活動を通して自己の意見を表現するだけでなく、他者の意見と比較することで今の考えや生活を見つめ直させる機会としたい。
  - ・ 小学校高学年での既習事項を想起させながら生徒相互の意見交流を深めさせ、心身の健康を適切に管理し改善していこうとする意欲を高めたい。

### 3. 学習指導目標

- (1) 心身の機能の発達について関心をもち、意欲的に学習活動に取り組むことができる。
- (2) 思春期には、生殖機能の成熟に伴い、心身の成長に対応した適切な行動が必要になることを理解することができる。
- (3) 心の健康を保つために、欲求やストレスに適切に対処するとともに、心身の調和を保つことが必要であることを理解できる。

### 4. 学習指導計画（全11時間）

- (1) 体の発育・発達・・・・・・・・・・1時間
- (2) 呼吸器・循環器の発育・発達・・・・・・1時間
- (3) 生殖機能の成熟・・・・・・・・・・2時間（本時 2/2）
- (4) 異性の尊重と性情報への対処・・・・・・・・1時間
- (5) 知的機能と情意機能の発達・・・・・・・・1時間
- (6) 社会性の発達と自己形成・・・・・・・・1時間
- (7) 心と体の関わり・・・・・・・・・・1時間
- (8) 欲求と欲求不満・・・・・・・・・・1時間
- (9) ストレスへの対処と心の健康・・・・・・・・2時間

5. 本時の学習指導

(1) 目標

- ・絵図を参考に、意見交流することを通して受精、妊娠のしくみを正しく理解することができる。
- ・妊婦と接する際に配慮すべきことを心情と行動の両面から考えることができる。

(2) 準備物

教科書、ノート、ワークシート、付箋紙、貼物資料、絵図、人形、PC

(3) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	教師の支援活動及び評価
<p>1. 新生児程度の重さの人形を抱き、感想を発表する。</p> <p>2. 妊娠のイメージについて考える。</p> <p>(1) 妊娠についてイメージすることを書く。</p> <p>(3) 発表する。</p>	<p>○●新生児程度の重さの人形を持たせて重さを体感させることで、出産や新生児を身近に感じさせ、学習への意欲を高めさせる。</p> <p>◎自分をもつ「妊娠」についてのイメージを率直に思いっただけワークシートに書かせることで、自分の意見をもたせるだけでなく、後のグループ活動の活性化につなげる。</p> <p>ながら、本時の学習課題につなげる。</p> <p>・友人の意見にしっかりと耳を傾けるように指示し、様々なイメージを共有できるように、補助発問や補足説明を行う。</p>
<p>月経、妊娠について理解し、女性との関わり方を考えよう。</p>	
<p>3. 女性の月経や妊娠、そのしくみについて知る。</p> <p>(1) 性腺刺激ホルモンの働きによる卵巣の発達</p> <p>(2) 排卵とその周期</p> <p>(3) 月経と初経</p> <p>(4) 受精と妊娠</p>	<p>●前時に学習したワークシートを用いて、男性の生殖機能の成熟と比較しながら女性の生殖機能の成熟について確認するように助言する。</p> <p>・小学校での既習事項である生殖機能の名称や受精のしくみについて確認させ、ワークシートに記入させる。</p> <p>・教科書の図を参考にさせることで、排卵のしくみ、月経周期、月経期間等を理解させる。</p> <p>・教科書の図を見せることで、精通の時期に個人差があるように、初経にも個人差があることを気づかせる。</p> <p>・女性の生殖器図を黒板に提示しながら説明することで、排卵から受精、着床までの過程を視覚的に理解させやすくする。</p> <p>・月経による出血は、本来受精卵を育てるための子宮内膜であること、妊娠中は、子宮が長い間命を守っていることを強調し、生命誕生の奥深さ等を理解させる。</p>
<p>4. 将来自分にパートナーができて妊娠したときのことを考える。</p> <p>(1) 妊娠から出産までの苦勞を知る。</p> <p>(2) 自分が妊婦に対してできることを個人で考える。</p> <p>(3) 班で意見交流をする。</p> <p>(4) 発表する。</p>	<p>●一般的な悪阻の症状や陣痛、出産の痛み等や最初に持った人形程の重さをいつもお腹に抱えていること等を伝えることで、女性の大変さを理解させた上で、自分にできることを考えさせる。</p> <p>●行動だけでなく、その行動の理由も考えさせることで、相手を思いやる心が様々な行動につながることに気づかせる。</p> <p>・付箋紙に自分ができることを書かせ、後の意見交流の活性化につなげる。</p> <p>◎意見交流の際は「自分の考えをもつ」、「理由を伝える」、「批判現金」を意識させ、全員が意見を出し合うように助言する。</p> <p>●それぞれの班の意見を代表者に発表させ、共有させることで、様々な価値観や行動があることに気づかせる。</p> <p>●自身のことだけでなく、異性のことも考えさせることで、互いに尊重し合うことの大切さに気づかせる。</p>
<p>5. 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 感想を記入する。</p> <p>(2) 自己評価を記入する。</p>	<p>[評価]</p> <p>・月経や妊娠について正しく理解し、自分にできることを考えることができたか。(観察・ワークシート)</p> <p>a 月経や妊娠について理解し、妊婦に対して自分にできることを考えることができる。</p> <p>b 月経や妊娠のしくみについて理解することができる。</p> <p>c の生徒への対応</p> <p>自身の身体や今後の生活に関わることであることを伝え、必ずしも今理解できなくても、時間をかけて徐々に理解していけばよいことを伝える。</p> <p>・一般的な妊婦が、「パートナーにしてほしいこと」をリストアップしたものを見せることで、どんなに些細なことでも、思いやりの気もちをもって接することが大切なことに気づかせる。</p>

○：意欲を高める手立て

◎：学び合いを深める手立て

●：振り返りを充実させる手立て